市民ネットワーク
ふくたに　しょうこ
福谷 章子の街づくり通信

福谷章子ＨＰ　http://fukutani.blog.ocn.ne.jp/blog/

みどり区 Vol.52
発行：市民ネットワーク
編集：市民ネットワーク・みどり
〒266-0031
千葉市緑区おゆみ野 3-40-8
河野ビル 101 号
Tel＆Fax：043-293-8011
E-mail　：midori@chibanet.jp

中国製冷凍餃子の農薬混入問題では、千葉市の関わり方が問題となりました。振り返れば、Ｏ－１５７に始まり、ＢＳＥや鳥インフルエンザ、輸入農産物の農薬残留問題、食品の製造年月日や産地の偽装表示と、食に関する安全安心が揺らぎ続けています。そこで、今回の議会では『食』を取り上げました。

農業体験の場 教育ファームを広げよう！

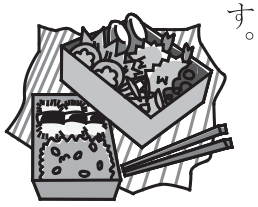
子どもたちや大人が、継続的な（二回以上）農業体験ができる場。現在、千葉市では農山村留学や少年自然の家の畑や田んぼでの体験がありますが、これらは一度限りの体験で、教育ファームが目指すものとは少し異なります。遊休農地がたくさんある緑区で、ぜひとも実現したい活動です。農家に教えを請いながら、学校給食にも使える安心野菜を作りましょう。

千葉市の伝統的な食文化って何ですか？

落花生の加工品、自家製味噌、房総の太巻き寿司と市は答えました。

え？たったの三つ!?確かに、「お土産に何か千葉市のものを・・・」と思うと、ハタと困ってしまいます。古いものでも新しいものでも、地場の食材を利用して千葉の食文化として伝えていくことも大切だと感じました。何かありますか？

土作りが大切なわけ



野菜に含まれる鉄分やミネラルは昔に比べ減少し、十分に野菜を取っていても野菜から摂取するミネラルの量は足りないといわれています。化学肥料の使用によりミネラル豊富な堆肥を使わなくなり、土がやせて、土からミネラルを吸収することができなくなっているということも考えられるのだそうです。

3月議会報告

平成 20 年第1回定例会
（2/25 ～ 3/19）

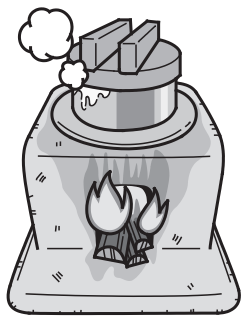
自給率をアップさせよう

千葉市の学校給食における地場（千葉県内）産物使用率は三四％。日本の食糧自給率は三九％ですから、千葉市としてはもう少し地場の農産物を使ってもいいのではないかと思います。昨年一〇月から十二月までは、市内産の新米コシヒカリを小中学校で使用したとのこと。身近なところの作り手がわかる作物を、子どもたちには食べさせたいものです。

食と温暖化防止との関係 フードマイレージ

地球環境問題への関心の高まりとともに、食糧輸送が環境に与える負荷を表す指標として、フードマイレージが注目されています。フードマイレージとは、食糧輸入量と輸送距離とを乗じた数値で、日本は約九千億トンキロメートルと、世界第一位。二位の韓国、三位のアメリカの約三倍となっています。さらに、輸入食糧に限らず国産農産物についても、輸送による環境負荷は少ないほうが良いことから、できる限り地場の旬の作物を摂りたいですね。

公民館＆コミュニティセンターで食文化の醸成を



公民館やコミュニティセンターでは、調理室以外の部屋でも、二年前から飲食が可能となっていますが、このことは周知されていません。このような不徹底な情報発信こそが不平等。以後、原則飲食が可能であることを、きちんと周知することとなりました。

小山町めぐり＆植樹祭

「谷津田（やつだ）で取れる米はうまいんだよ」

昭和初期生まれの父がよく言っていました。

その「谷津田」が千葉県に多く、特徴的な地形であることを「小山町めぐり」に参加して初めて知りました。

小山町の「産業廃棄物処分場計画」は白紙に戻ったものの その跡地が、山肌をむしり取ったような形で取り残されていることも、この「植樹祭」にでかけて、ようやくリアルに解りました。自分たちが住んでいるところの風土を理解し、守っていこうという人たちにも、たくさん出会いました。

緑区・再発見
行ってきました!!
3月8日（土）

この荒野にこれから苗木を植えます。

30年後、ここで植樹に参加したこの子たちが、「この土地を生き返らせたのは僕たちなんだよ」と、その子どもたちに語り伝えてくれますように…。

（MM）

木の赤ちゃん
無事に大きく育ってね。

遊歩道で、交通事故が起きる前に！

住民発の『遊歩道通行ルール』をつくりたい

FROM おゆみ野自転車共生会議

『遊歩道、人がいっぱい通るとき、歩行は右側、自転車は真ん中』って。

「遊歩道でルールなんて、そんなの関係ね～！」でも、ちょっと待ってみて…。

「自転車にぶつかりそうになったよ！」「急いでるのに、人がいっぱいで、電車に乗り遅れちゃうよ」「子どもを遊ばせていて危険を感じたね」。

おゆみ野の遊歩道で、こんな経験をした方はいらっしゃいませんか？特に通勤通学時には、多くの人が行き交い、「危険だ、不便だ」と感じることが多くなってきているようです。

ところで、遊歩道を管理する千葉市では、ただいま「市民参加及び協働に関する条例」を策定中です。

これは、私たち住民が市と協力し、おゆみ野の街づくりに力を発揮できるとても良いチャンスです。おゆみ野の街でも、日々遊歩道を利用する住民自らが、安全を守り、子どもたちに伝えていくために、実際の使われ方に即した「遊歩道通行ルール」について意見を述べ、提案し、街ぐるみで育てていくことが、今後の住民自治の方向ではないでしょうか。

私たち、おゆみ野自転車共生会議では、**遊歩道を通行する全ての人の安全のために**、仲間たちと一緒に話し合いながら『遊歩道通行ルール』を考え、末永く伝えていきたいと日々活動してきました。

その中で、広く地域の方々や千葉市とも方向性を確認しながら、協働体制を築きつつあります。そして、まず初めに、遊歩道の構造で特に危険な地点でのルールの策定と実行に着手し、街ぐるみで認められるルール作りを目指します。

また、地域のみんなで作った「遊歩道通行ルール」を、学校教育の場にも取り入れていただくことで、次世代を担う子どもたちへも伝えて行きたいと考えています。

皆様には、ご理解とご協力のうえ、当活動への参加についても、よろしくお願い申し上げます。

（しみず）